

文化庁委託事業 令和5年度障害者等による文化芸術活動推進事業
障害当事者の劇場・文化施設での芸術鑑賞及び
体験を充実させる施設職員とアーティストの育成プログラム

障害のある人と考える 舞台芸術表現と 鑑賞のための講座

企画実践編 入門編

「ダイバーシティ」や「インクルージョン」、「合理的配慮」などの言葉が溢れる時代。

私たちはその言葉の意味をきちんと理解できているでしょうか？

言葉の先にあることを理解し、今どのような事業を立案できるのか。

舞台芸術にまつわる事業を企画する制作者やアーティストの方々へ向けて、

共に学び考える講座を実施します。

入門編(オンライン講座+障害当事者の表現活動にまつわるドキュメンタリー映像上映会)と

企画・実践編(福祉施設への視察+企画発表)2部門で受講生を募集。

これからの時代を切り開いていくみなさんのご参加をお待ちしています。

タビ

入門編

講座と上映会を通じ、障害当事者との創作現場で必要な視点や考え方を学ぶ基礎講座。

対象 | 劇場や文化施設の職員、アーティストなど
全国各地の若手からシニアまで経験問わず受講可能
社会と舞台芸術のつながりを探している方
料金 | 通し券 5,000円
(オンライン講座全6回、上映会3作品鑑賞、交流会1回)
講座1回券 1,500円

オンライン講座 (全6回) ※手話通訳、UDトークによる日本語字幕配信予定

芸術文化の価値とは何か

日程 | 2023年9月13日[水] 19:30-21:00
講師 | 中村 美亜 (九州大学大学院芸術工学研究院・教授)



中村 美亜 Nakamura Mia
専門は文化政策・アートマネジメント研究。近年は芸術文化の価値と評価、社会包摂、認知症の人との共創的アートに関する実践的研究を行っている。訳書に『芸術文化の価値とは何か』(水曜社、2022年)、編著に『文化事業の評価ハンドブック』(水曜社、2021年)、単著に『音楽をひらく』(水声社、2013年)など。

舞台芸術系ワークショップの福祉施設での実践

日程 | 2023年10月11日[水] 19:30-21:00
講師 | 鈴木 励滋 (生活介護事業所「カブカブ」所長/演劇ライター)
白神 ももこ (振付家/演出家/ダンサー)



鈴木 励滋 Suzuki Reiji
1973年3月群馬県高崎市生まれ。97年から現職を務め、演劇に関しては劇団ハイバイのツアーパンフレットや「東京芸術祭」のウェブサイトなどに寄稿。「障害×アート」については、師匠の栗原彬(政治社会学)との対談が『ソーシャルアート 障害のある人とアートで社会を変える』(学芸出版社、2016年)に掲載されている。



白神 ももこ Shiraga Momoko
振付家・演出家・ダンサー
ダンス・パフォーマンス的グループ「モモンガ・コンプレックス」主宰
無意味・無駄を積極的に取り入れユニークな空間を醸し出す作風には定評がある。
現在、埼玉県の富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督
2017-2018年度セゾン文化財団ジュニアフェロー
四国学院大学、桜美林大学非常勤講師

合理的配慮から考える障害の社会モデル

日程 | 2023年10月23日[月] 19:30-21:00
講師 | 飯野由里子 (東京大学大学院教育学研究科附属
バリアフリー教育開発研究センター特任准教授)



飯野 由里子 Inoue Yuriko
専門はフェミニズム・ディスアビリティ研究。一般社団法人ふえみ・ゼミ & カフェで運営委員も務める。主な著書に『合理的配慮：対話を開く対話が拓く』(共著、有斐閣、2016年)、『「社会」を扱う新たなモード：「障害の社会モデル」の使い方』(共著、生活書院、2022年)など。

企画実践編

オンライン講座、全国各地の福祉施設への視察研修を通じて、障害当事者の生活状況や、施設の方々のケアのポイント、芸術とケアの接点や効果、アートと福祉を通じた地域社会のあり方について学びます。専門家の助言をもらいながら、実際に自分たちの活動領域で実践できる企画(ワークショップや創作活動、鑑賞プログラム等)を立案し発表します。

応募締め切り | 2023年9月18日(月・祝) 24:00

対象 | 舞台芸術にかかわる劇場・文化施設職員の企画者、舞台芸術団体制作者、アーティスト等
料金 | 一般 30,000円
U29 15,000円
※入門編通し受講料込み
※交通費補助上限50,000円あり

応募条件 |
・メールでのやりとりが可能な方
・視察研修に最低1ヶ所以上現地参加ができる方
・2024年2月28日[水]ロームシアター 京都での企画発表会に参加できる方
内容 |
入門編(オンライン講座+上映会3作品)
オリエンテーション/視察研修(全4回)/企画検討会(全4回)/上映会振り返りディスカッション/企画発表会(ロームシアター京都 ノースホール)

視察研修先

現場の声を聞く

日時 | 2023年9月28日[木]
会場 | 川口太陽の家工房集
埼玉県川口市木曾呂1445
https://kobo-syu.com



実践するPLAYの時間

日時 | 2023年10月17日[火]
会場 | たんぼぼの家
アートセンターHANA
奈良県奈良市六条西3丁目25-4
https://tanpoponoye.org



「なんでそなんプロジェクト」からぬかが目指すカタチ

日時 | 2023年11月21日[火]
会場 | ぬかつくとこ
岡山県都窪郡早島町早島1465-1
https://nuca.jp



まちの中の施設

日時 | 2023年12月12日[火]
会場 | リベルテ
長野県上田市中央西1丁目9-5
https://npo-liberte.org



企画検討会 (オンライン)

受講生内で3人1組を目安としたグループ分けを行い企画を立案していきます。メンターへの相談やフィードバックを得ながら企画をまとめていきます。

日時 | 2023年11月7日[火] 12月19日[火]
2024年1月23日[火] 2月13日[火]
各日 19:30-21:00

メンター | 山川陸(アーティスト)



山川 陸 Yamakawa Riku
Transfield Studio 共同主宰/一級建築士事務所山川陸設計 代表
誰かと共に考えるための状況を設計している。日々の生活と作品鑑賞、場所の関係から福祉施設を考える「劇場をつくるラボ」ディレクター(2021)/アートのまつわる相談所を運営する集まり「SNZ」の企画・運営(2020-)/土地と人の折り合いの歴史から都市を見直すツアーパフォーマンス『Lines and Around Lines』(2022)の発表など。2013年 東京藝術大学美術学部建築科卒業。

写真撮影:Natsuki Kuroda

上映会振り返りディスカッション (オンライン)

日程 | 2024年2月20日 [火] 19:30-21:30

企画発表会

※講評フィードバック後発表

日程 | 2024年2月28日[水]13:30-18:00(予定)
会場 | ロームシアター京都 ノースホール

企画監修 | 長津結一郎 (九州大学大学院芸術工学研究院准教授)、文 (DANCE BOX)



長津 結一郎 Nagatsu Yuichiro
多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走/伴奏する研究者。専門はアーツ・マネジメント、文化政策、障害のある人などの多様な背景を持つ人々の表現活動に着目した研究を行っているほか、ワークショップに関する教育、演劇・ダンスのマネジメントやプロデュースにも関わる。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』(九州大学出版会、2018年)



文 Aya
神戸・新長田の劇場「ArtTheater dB KOBE」を拠点に、コンテンポラリーダンスのアーティストの育成事業や、障がいをもつ人や国籍の違う人・地域の人とつくる事業を展開。ダンスと身体、表現と社会、人と地域と劇場が出会い拡張する現場を考え続けている。「循環プロジェクト」(~2012)を経て、現在は盲・聾・車いす・義足等のメンバーによるダンスカンパニー「Mi-Mi-Bi」にも伴走中。

写真撮影:Junpei Iwamoto

舞台芸術における音声ガイドについて

日程 | 2023年11月28日[火] 19:30-21:00
講師 | 鯨 エマ

(演劇家/NPO法人シニア演劇ネットワーク理事長/舞台ナビLAMP代表/だれでもアーティストわくわく代表)



鯨 エマ Kujira Ema
劇団での俳優業のかたわら、障害者のヘルパーを副業にしたことをきっかけに2003年劇場のバリアフリーに着手、主に高齢者の演劇活動と視覚障害者の鑑賞サポート(音声ガイド)を行っている。現在は鑑賞サポートの人材育成とコーディネートのほか、新宿区内で高齢者劇団「かんじゅく座・半熟座」の作演出、奥多摩町で障害者とこどもの演劇創作「だれでもアーティストわくわく」を主宰し作品創作を進めている。過去の鑑賞サポートレクチャー:彩の国さいたま芸術劇場、KAAT神奈川芸術劇場、保谷こもれびホール、せんがわ劇場、劇団銅鑼、Pカンパニー、劇団青年座、他多数。過去の音声ガイド:劇団銅鑼『彼の町』、劇団青年座『からゆきさん』、マーム&ジプシー『BOAT』、『めにみえない、みみにしたい』、パレエ作品『瀕死の白鳥』、『瀕死の白鳥 その死の真相』他多数

座談会

障害当事者の視点からいまの創造環境についてきく

日程 | 2023年10月30日[月] 19:30-21:00
登壇者 | 石田 智哉 (映画監督)

関場 理生 (俳優/劇作家/ダイアログ・イン・ザ・ダークアテンド)
南雲 麻衣 (パフォーマー/アーティスト)
林 建太 (視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ)



石田 智哉 Ishida Tomoya
筋ジストロフィーによる電動車椅子ユーザー。立教大学現代心理学研究科博士課程在学中。研究テーマはドキュメンタリー映画からしょうがい者の「身体」を思考すること。初監督作『へんしんっ!』[2020]がびあフィルムフェスティバル[PFFアワード2020]グランプリを受賞。



関場 理生 Sekiba Rio
1996年、東京生まれ。2歳で失明し全盲となる。東京都立総合芸術高等学校舞台表現科3期、日本大学芸術学部演劇学科劇作コース卒業。2021年、ジェニー・シーラー演出『テンペストー初めて海を泳ぐにはー』出演。2022年、神戸アートビレッジセンター主催、手話裁判劇『テロ』出演。現在、ナレーターとしてみみよみナレーション事務所やePARA Voiceに所属する他、ダイアログ・イン・ザ・ダークのアテンドとしても活動している。



南雲 麻衣 Nagumo Mai
平成元年生まれ。3歳半で失聴、7歳で人工内耳埋め込み手術を受ける。大学まで手話を知らずに音声言語のみで育ち、大学で日本手話に出会う。文化施設の運営とアートなどの企画の仕事の傍ら、ダンサー、アーティストとしても活動する。また、美術館や子ども向けの視覚言語ワークショップを積極的に行う。2022年4月より手話による文化創造拠点づくりを目指す「めとらボ」連携プログラム担当。



林 建太 Hayashi Kenta
1973年東京生まれ。1995年より介護福祉士として訪問介護事業に携わる。2012年より「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」発足。全国の美術館で、目の見える人、見えない人、さまざまな味方の人が「見る経験」について考える鑑賞プログラムを企画運営している。最近の主な活動は2017年から継続している東京都写真美術館での写真を楽しむ鑑賞プログラムなど。

障害当事者との企画を考えるということ

日程 | 2023年12月5日[火] 19:30-21:00
講師 | 牧原 依里

(映画作家/アーティスト/一般社団法人日本ろう芸術協会 代表理事)



牧原 依里 Makihara Eri
ろう者の「音楽」をテーマにしたアート・ドキュメンタリー映画『LISTEN リッスン』(2016)を堺境(DAKE)と共同監督、第20回文化庁メディア芸術祭アート部門 審査員推薦作品等。最新作に『田中家』(2021)、舞台『聴者を演じるということ 序論』等。東京国際ろう映画祭ディレクター、ろう難聴俳優養成講座デファクターズ・コース企画運営など、ろう・難聴当事者の人材育成とろう者と聴者が集う場のコミュニティづくりを努めている。

写真撮影:Hiroshi Ikeda

入門編

上映会 上映会1作品 | 1,000円

障害当事者の創作活動の現場で起こる実態とその創作環境、周囲の関わり方、障害当事者の表現にかける思いについて、ドキュメンタリー映画の鑑賞を通じて学びます。

上映作品

こころの通訳者たち

What a Wonderful World
2021年/日本/94分



©Chupki

演劇や映画を視聴覚障害者に届けることに奮闘する通訳者たちを追った日本唯一のユニバーサルシアター「シネマ・チュブキ・タバタ」製作のドキュメンタリー
公式WEB <https://cocorono-movie.com>

音の行方

2022年/日本/107分



©映画「OTCASOBI」製作委員会

知的障害がある人と即興音楽の出会いが生み出す新たな世界。音遊びの会ドキュメンタリー
公式WEB <https://www.whereabouts-of-sound.com>

へんしんっ!

2020年/日本/94分



©2020 Tomoya Ishida

電動車椅子を使って生活する石田智哉監督が障害者の表現活動の可能性を探るドキュメンタリー
公式WEB <https://henshin-film.jp>

上映日程

■新潟会場

日程 | 2024年1月20日[土]

会場 | りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 スタジオA
(〒951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2)

■福岡会場

日程 | 2024年1月27日[土]

会場 | 福岡市美術館 ミュージアム ホール
(〒810-0051 福岡県福岡市中央区大濠公園1-6)

■福島会場

日程 | 2024年2月3日[土]

会場 | いわき芸術文化交流館アリオス 小劇場
(〒970-8026 福島県いわき市平三崎1-6)

■東京会場

日程 | 2024年2月10日[土]

会場 | 東京芸術劇場 シアターイースト
(〒171-0021 東京都豊島区西池袋1丁目8-1B1F)

■京都会場

日程 | 2024年2月17日[土]

会場 | ロームシアター京都 ノースホール
(〒606-8342 京都府京都市左京区岡崎最勝寺町13)

■上映時間 (開場 | 各作品上映開始20分前)

1/20(土) 新潟会場	1/27(土) 福岡会場	2/3(土) 福島会場	2/10(土) 東京会場	2/17(土) 京都会場
へんしんっ!(94分) 12:30 - 14:04	こころの通訳者たち(94分) 12:30 - 14:04	音の行方(107分) 12:30 - 14:17	こころの通訳者たち(94分) 12:30 - 14:04	へんしんっ!(94分) 12:30 - 14:04
音の行方(107分) 15:00 - 16:47	へんしんっ!(94分) 15:00 - 16:34	へんしんっ!(94分) 15:30 - 17:04	音の行方(107分) 15:00 - 16:47	こころの通訳者たち(94分) 15:00 - 16:34
こころの通訳者たち(94分) 18:00 - 19:34	音の行方(107分) 17:30 - 19:17	こころの通訳者たち(94分) 18:00 - 19:34	へんしんっ!(94分) 18:00 - 19:34	音の行方(107分) 17:30 - 19:17

上映会1作品券 2023年12月1日(金) 予約開始 (予定)

■上映会クレジット

新潟会場 協力 | 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団(アーツカウンシル新潟・りゅーとぴあ事業企画部)

福岡会場 協力 | 公益財団法人福岡市文化芸術振興財団

福島会場 制作協力 | いわき芸術文化交流館アリオス

京都会場 共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

ご参加
おまちして
おります!

詳細・プログラムの最新情報は
公式サイトをCHECK



講座申込み
下記よりお申し込みください



主催 | 文化庁、一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL
企画・制作 | 一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL
運営 | 株式会社precog

お問合せ | drif.performingarts@gmail.com (事務局)